

発電所だより 2024年5月号

安全対策工事の状況を
ホームページで公開しています



東北電力株式会社 女川原子力発電所総務部広報グループ
女川町塚浜字前田1 電話0225-53-3111
2024年5月発行

《自治体による立入調査が実施されました》

5月14日、「女川原子力発電所周辺の安全確保に関する協定書（安全協定）」に基づき、宮城県および女川町、石巻市（登米市、東松島市、涌谷町、美里町、南三陸町も同行）による立入調査が行われました。

自治体を代表して宮城県原子力安全対策課 長谷部課長からは「安全協定に基づく事前協議の申し入れを受けている案件※について、まずは国の審査に対して真摯に対応し、安全性向上を確実に図ること。国の審査や廃止措置の状況について、関係自治体や県民に対して積極的かつ分かりやすい情報公開を行い透明性を確保し、信頼関係構築に努めること」などのご要望をいただきました。

当社としては、今回いただいたご要望を真摯に受け止め、今後の発電所の運営に生かしてまいります。

- 調査項目
- ・安全協定に基づく事前協議の申し入れを受けている案件※に係る確認
 - ・女川原子力発電所1号機の廃止措置状況

※原子力規制委員会へ原子炉設置変更許可申請を行い、現在審査中の「使用済燃料乾式貯蔵施設の設置」「所内常設直流電源設備（3系統目）の設置および固体廃棄物処理系固化装置の固化材変更」について



使用済燃料乾式貯蔵施設の建設予定地について説明する様子



宮城県原子力安全対策課 長谷部課長による講評

上記の調査項目のうち、女川原子力発電所1号機の廃止措置の状況についてお知らせします

Q. 廃止措置作業はどのように実施しているの？

A. 女川1号機は原子力規制委員会から認可された廃止措置計画に基づき、2020年7月より廃止措置作業に着手しています。廃止措置は右の図のとおり、全体工程（34年）を4段階に区分して実施しています。

Q. 今はどのような作業を実施しているの？

A. 現在、第1段階の解体工事準備期間（2020年度～2027年度）として、汚染状況の調査や汚染の除去などを進めています。

また、放射性物質による汚染のない区域に設置している設備の解体撤去も実施しています。5月14日の自治体による立入調査では、2024年3月に完了した主変圧器※の撤去状況などを確認いただきました。

今後も廃止措置計画に基づき、安全最優先で作業を進めてまいります。

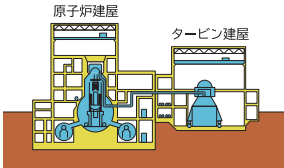
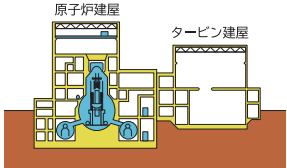
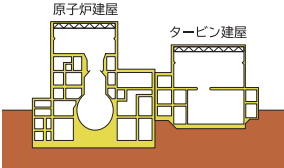
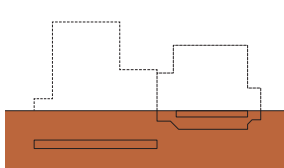


主変圧器（撤去前）



主変圧器（撤去後）

※発電機でつくられた電気を送電線に送るために電圧を上げる機器

廃止措置の実施区分	第1段階	第2段階	第3段階	第4段階
	解体工事準備期間 8年（認可～2027年度） 	原子炉領域周辺設備 解体撤去期間 7年（～2034年度） 	原子炉領域設備等 解体撤去期間 9年（～2043年度） 	建屋等解体撤去期間 10年（～2053年度） 
主な作業	燃料搬出 汚染状況の調査			建屋等の解体撤去
	----- 安全貯蔵 -----	放射線管理区域内の設備（原子炉領域以外）の解体撤去		
		-----> 原子炉領域の解体撤去		
		汚染の除去		
		放射線管理区域外の設備の解体撤去		
		放射性廃棄物の処理処分		

現 在

現在実施している主な作業：

廃止措置の状況は当社ホームページでもお知らせしています

<https://www.tohoku-epco.co.jp/electr/genshi/safety/haishi/info.html>



《ローズガーデンフェア2024を開催します》

女川原子力PRセンター敷地内のスイートガーデンでは、5月25日より「ローズガーデンフェア2024」を開催しています。

全長約20メートルの「しあわせのバラのトンネル」をはじめ、約110種類のバラが色鮮やかに咲き誇ります。開催期間中にご来場いただいた皆さまには、バラと一緒に記念写真を撮影し、プリントする無料サービスも行っています。

ぜひ皆さまお誘いあわせのうえ、女川原子力PRセンターにお越しください。



しあわせのバラのトンネル

開催期間 6月22日(土)まで

入場
無料



記念写真の撮影・プリントサービス付き！

女川原子力PRセンター

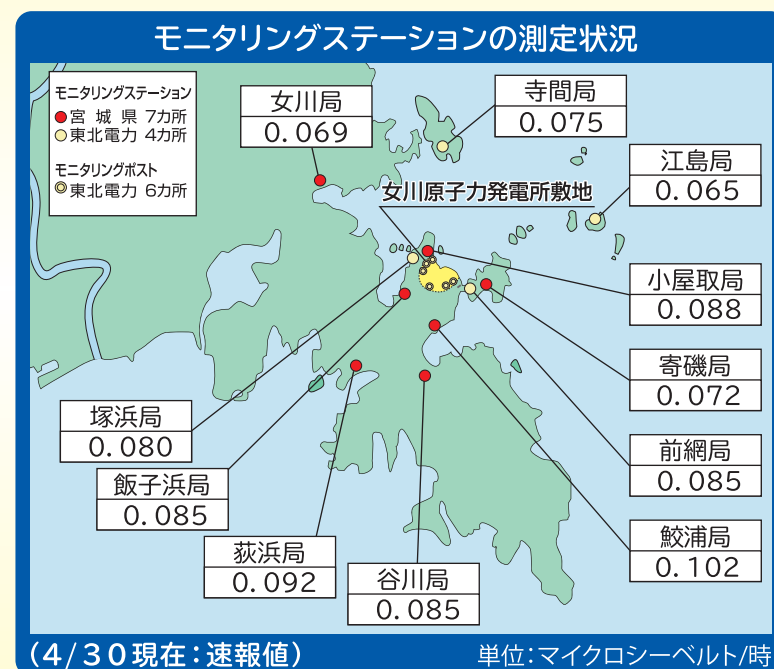
※館内に飲食施設はございません

電話番号 0225-53-3410 住所 牡鹿郡女川町塚浜字前田123
開館時間 9:30~16:30 駐車場 25台分(大型バス駐車スペースあり)
休館日 毎月第3月曜日(祝日の場合、翌日)・年末年始

《女川原子力発電所周辺の放射線量は安定しています》

女川原子力発電所周辺の放射線はモニタリングポスト※¹やモニタリングステーション※²で測定・監視しており、その測定値は宮城県および当社ホームページで公開しています。

発電所敷地内に設置してあるモニタリングポストの2024年4月30日の測定値は、最大で0.044マイクロシーベルト/時程度で安定しており、健康に影響を与えるレベルではありません。



※¹ モニタリングポストは発電所敷地周辺の環境放射線を測定しています。女川原子力発電所の敷地境界には6基のモニタリングポストが設置されています。
※² モニタリングステーションは環境放射線に加えて気象データを測定しています。
※³ モニタリングポストの測定値は、宇宙線(宇宙空間を飛び交う高エネルギーの放射線)の影響分が含まれないため、モニタリングステーションの測定値より0.02~0.04マイクロシーベルト/時程度低い測定値となっています。
※⁴ 東京電力福島第一原子力発電所からの放射性物質の放出に伴い測定されたもので、測定された時間は約10分間です。

(参考) モニタリングポストの 最小値と最大値※³

〈東北地方太平洋沖地震発生日〉	
2011年 3月11日	0.027~0.064
〈地震発生後最大値〉	
2011年 3月13日	1.8~21※ ⁴
〈地震発生から2年と 至近2年の(4/1) 値および前月値〉	
2012年 4月 1日	0.063~0.098
2013年 4月 1日	0.055~0.076
?	
2022年 4月 1日	0.033~0.045
2023年 4月 1日	0.034~0.046
2024年 4月 1日	0.033~0.045
2024年 4月30日	0.033~0.044

単位:マイクロシーベルト/時

《地域の一員として環境美化活動に継続して取り組んでいます》

4月18日、発電所員および協力企業従業員23名で、前網地区の道路清掃を行いました。参加者は安全に配慮しながら、道路脇に捨てられた空き缶やペットボトルなどを拾い集めました。



道路脇のごみを拾う様子



5月8日、発電所員5名が地域の方々と協力し、鳴り砂で知られる小屋取浜および夏浜の海岸清掃を行いました。

参加者は浜辺に打ち寄せられた流木やごみなどを拾い集めました。



地域の方々と流木やごみを拾う様子

